Hijicho
大阪市立大学新聞

2018年4月
第57号

胴上げされる合格者＝中村伸二撮影

【新コーナー】クラブよ～いドン！
◇第1回「市大アイドル～にゃんちゅう～」 …2

ニュース・コラム

■ 前期入試合格発表　合格者、歓喜に沸く 4
■ マダム鳥子のピーチクパーチク
うるさいわね！◇第10回 5
■ 「桜前線」を目指せ！
ふたば祭実行委員長インタビュー 6
■ 中小企業を楽しく学べる
「継ぐまちファクトリー」発売 8
■ 「最強の右腕」とは？
市大に新広告が登場 10
■ Hijichoよりお知らせ 12
■ 第1回桜花杯、開催 13

読者投稿コーナー・漫画 14

■ それゆけひじちょうさん
■ 市大川柳
■ 大喜利コーナー ICHIDAIグランプリ

「クラブよ～いドン！」は市大で活動するクラブやサークルを取り上げていく新コーナーです。
「あなたのとなりのあの子が所属しているクラブを詳しく知ろう」をコンセプトにしています。

第一回「市大アイドル～にゃんちゅう～」

あなたもにゃんちゅうになりませんか？

みなさんは「市大アイドル～にゃんちゅう～」をご存じだろうか。名前を聞いたことのある市大生は多いだろう。にゃんちゅうの魅力、アイドル活動の魅力とは何なのか。にゃんちゅうのメンバーである、じゅりにゃんちゅうとあみにゃんちゅうにお話を伺った。

にゃんちゅうオールスターライブの様子＝あべのルシアスＡステージで３月10日、市大アイドル～にゃんちゅう～提供

――「市大アイドル～にゃんちゅう～」とはどのような団体ですか。

市大のアイドルであり、アイドルのコピーダンスサークルをすることで学内や周辺地域を盛り上げることを目的に活動しています。

――メンバー紹介をお願いします。

赤色担当のじゅりにゃんちゅうと水色担当のあみにゃんちゅうの２人です。

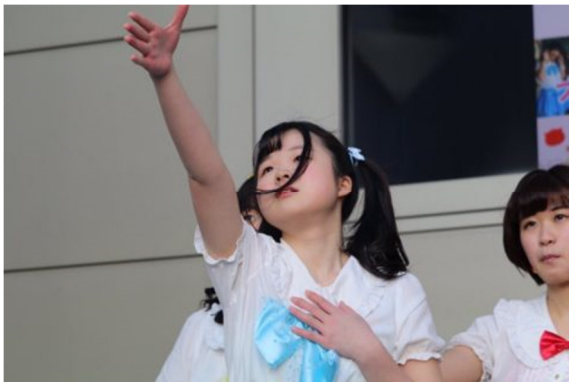
――具体的にはどのような活動を行っているのですか。

メインは銀杏祭やふたば祭などの学祭です。たまに地域のお祭りに参加しています。アイドル日本一を決める大会があり、出場したい気持ちもありますが、お金がかかるので出場できない状況です。

――アイドル活動の楽しいところを教えてください。

かわいい衣装を着て踊れるところです。また、コールアンドレスポンスのようなアイドルならではの雰囲気を体験できます。さらに、遠方から来てくれるファンの方や、ファンレターを渡してくれる方

もいるので、やりがいを感じながら活動することができます。



――どのような人に入ってほしいですか。

アイドルが好き、かわいい衣装が着たい、踊ってみたいなどの気持ちがある人にはぜひ入ってほしいです。2人ともにゃんちゅう以外の部活やサークルに入っているので、掛け持ちでも構いません。また、にゃんちゅうはメンバーだけではなくスタッフさんも募集しています。特に、動画編集ができる方や衣装を作れる方が嬉しいです。

――この記事を読んでいる方にメッセージをお願いします。

にゃんちゅうの活動では、普段味わえない体験がたくさんできます。大学生活の過ごし方を迷っている新入生はもちろん、残りの大学生活を一味違うものにしたい上回生でもどんな人でも大歓迎です。新歓はあまり行うことができないので、興味のある方はTwitterのDMで気軽にご連絡ください。

また、4月下旬に行われるふたば祭で踊る予定です。ライブにも遊びに来てほしいです！

文責

加藤菜々子（Hijicho）

「クラブよ～いドン！」

掲載団体募集

Hijichoでは「クラブよ～いドン！」にて紹介する団体を募集しています。
うちの団体はこんな活動をしている！
もっと知名度をあげたい！という皆様、
あなたの団体を取材させてくれませんか？

ご連絡お待ちしております。

連絡先
Twitter: @hijicho
Mail: hijicho@gmail.com

前期入試合格発表

合格者、歓喜に沸く

3月9日、本学で2018年度一般入試前期日程の合格発表が行われた。午前11時になり合格者の受験番号が貼りだされるやいなや、自分の受験番号を見つけた多くの受験生が歓喜に沸いた。

喜びでいっぱいの合格した受験生にインタビューを行った。

商学部合格・岩本さん

大阪市立大学は一度訪れたときに、広くてかっこいい印象を受けたので受験しました。受験勉強がとても大変だったので、合格できてとてもうれしいです。

岩本さん＝犬田美穂撮影

医学部合格・堅田さん

2浪したので合格できてとてもうれしいです。モチベーションを保つのが一番大変でした。医学部を受験した理由は、医者である父に憧れていたためです。大学では友達と旅行したり、通っていた塾でアルバイトをしたいと考えています。

堅田さん＝3月9日、中村伸二撮影

医学部合格・宮内さん

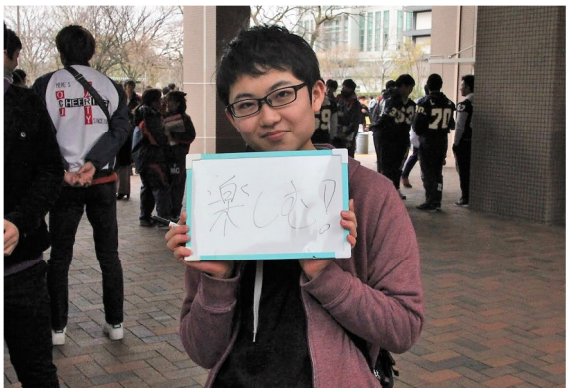
合格できて最高の気分です。センター試験や2次試験などの直前が一番大変でした。大学では、運動をしたいと考えています。

宮内さん＝3月9日、中村伸二撮影

文学部合格・中村さん

高１、２の時勉強をさぼっていたので、その分高３の夏休みから頑張って勉強しました。数学が苦手で最後まで苦労しました。文学部では社会学を学びたいと考えています。大学生活は可能なかぎり楽しみたいです。

この初心を忘れず、一生に一度の大学生活を思い切り楽しんでほしい。



中村さん＝３月９日、中村伸二撮影

文責

犬田美穂（Hijicho）

マダム鳥子のピーチクパーチクうるさいわね！

～今日も悩める雛鳥たちから～ Vol.10

私の部活は人数が少ない所謂弱小サークルです。
今年の新歓では新入生をたくさん入れて活動を盛り上げたいと思っています。
マダム鳥子さん、新歓を成功させる秘訣を教えてください！　（新歓担当）

あら、この時期にぴったりの質問ね。部員数が少なかったり、マイナーなサークルは規模の大きいサークルに埋もれてしまうのよね。あなたの言う弱小サークルとは、どれくらいの規模なのか分からないけれど、新歓のコツ、教えてあげる。

そうねぇ、まずは相手に自分のサークルについて知ってもらうのが大切よ。せっかく楽しく活動していても、知られていなければおじゃんになってしまうでしょ？　入部の決め手になるものは人それぞれだけれど、そのサークルの活動に惹かれて、っていうのが多いんじゃないかしら。あなたのサークルがどれほど魅力的なのか、新入生に余すことなく伝えること。あなたのサークルでしかできないような新歓をするのもアリよ。特にスポーツ系のサークルなんて体験した方が実感できるから良いわよね。具体的にどんなことをしてるか、雰囲気はどんな感じか、言葉では伝えきれないもの。

ん？　雰囲気も大事なのかって？　えぇ、もちろんよ。すでに険悪な空気のサークルにわざわざ入る、なんてことするかしら。活動の内容だけじゃなくてサークル内の雰囲気も新入生は見てるわよ。まぁあなたたちは人間だから、意見の衝突があるのは仕方ないわ。でもそんなものさっさと解決して。いつまでも問題を引っ張ったりしちゃダメ。長引いてたら、カンケー無い人にまで気を使わせることになって……。もうここまで来れば、どうなるか分かるわね。いいこと？　問題の早期解決、日頃から心掛けておくのよ。そうすれば、おのずと良い雰囲気が出るから。

まぁ、このくらいにしておきましょうかしらね。あなたの新歓、成功するといいわね。頑張って頂戴。

文責　マダム鳥子

「桜前線」を目指せ！

ふたば祭実行委員長インタビュー

新たな年度が始まり、学内ではあちこちで新歓が行われ、多くの活気にあふれている。新入生は新たな出会いと生活に胸を躍らせていることだろう。そんな季節にぴったりのイベントである、ふたば祭が4月19日から21日の3日間開催される。

ふたば祭の企画、運営を行っている大学祭実行委員会（まつり）委員長の大島宗悟さん（工・新3年）に第13回ふたば祭についてお話を伺った。

大島宗悟さん＝3月19日、行田美希撮影

「桜前線」を目指すふたば祭とは？

――ふたば祭の特色について教えてください。

市大では毎年4月にふたば祭、11月に銀杏祭の年2回学園祭が開催されます。銀杏祭では模擬店も多く、お店を中心に回る楽しみ方もありますが、ふたば祭は模擬店よりステージ発表、展示発表重視の学園祭です。新歓も兼ねて大学のサークルが新入生に向けて普段の活動を発表する場でもあるので、特に新入生に来てほしいですね。

――今年のふたば祭のテーマについて教えてください。

今年のテーマは「桜前線」です。このテーマには、新入生だけでなく市大生全員がふたば祭や大学生活で成長し、自分の才能を桜のように開花させ、桜前線のようになってほしいという願いが込められています。ふたば祭を通してその手伝いができればと考えています。

――昨年のふたば祭との違いはありますか。

今年のふたば祭では、毎年人気の芸人企画を行わないという点が例年とは大きく異なります。ふたば祭の費用をおさえて、今年の銀杏祭で例年よりも知名度の高い芸人を呼びたいという思いから、ふたば祭では呼ばず、その分の時間は各サークルの発表時間に充てることにしました。

――ステージ企画について教えてください。

新入生向けの企画が主に行われます。各サークルが発表するサークルステージ、誰でも楽しめる企画が行われるまつり企画のステージ、また「ストリート」という、ステージではなく道端で行われる企画もあります。まつり企画のなかで面白そうな企画の名前を挙げるなら、2日目の「ダーティートーク」、3日目の「あつまれ釣りバカピーポー」です。何をするんでしょうね（笑）。

――イチオシの企画はありますか。

すべての企画を見てもらいたいのはもちろんですが、自分がMR（Music Research Club）に所属していることもあり、3日目夜のふたば祭を締めくくるイベントである「ファイヤーフェスティバル」がイチオシですね。市大にある軽音系サークルが合同でラ

イブを行うのですが、そこで演奏しているのはサークル内で行われるオーディションを突破した、各サークルで一番のバンドです。音楽に興味がある新入生にはぜひ来てほしいですね。

――ふたば祭のキャラクター「ふターバン」の活躍は今年も見られるのですか。

「ふターバン」は毎年ふたば祭のキャラクターとして主にふたば祭の広報活動を行ってくれています。しかし、公式ツイッターではパスワードが分からなくなってしまったため、今年は広報活動を行うことができていません。そのため急遽、銀杏祭のキャラクターである「ぎんなんザウルスベイビーズ」に広報を行ってもらっています。「ふターバン」は看板では登場する予定です。

学園祭を盛り上げるために協力を

――新入生のふたば祭への参加状況がよくないと聞くのですが。

ふたば祭の時期、新入生はふたば祭に来るよりも、新しくできた学科の友人と遊ぶ方を優先しがちです。それならむしろ、その友人を連れてふたば祭に遊びに来てもらいたいですね。複数人だと、私はこのサークルのステージが見たい、僕はこの展示が見たいなど、人によってふたば祭に参加する目的が違うと思うのですが、そういうときは全企画を網羅して楽しんでもらいたいです。また、大学には中学や高校にはなかった活動をするサークルや、より大規模に活動するサークルが多く、どれも魅力的です。ふたば祭をきっかけに新しいことを始めてみるのもいいかもしれません。 もちろん中学や高校であったことを続ける人も応援します。

――市大の学園祭はすべてが入場料無料ですよね。

市大の学園祭では多くの人に気軽に来てほしいという思いから、プロのアーティストのコンサートや著名人の講演会などのイベントもすべて無料で提供しており、これからも変えるつもりはありません。

そのため、毎年新入生から新入生協賛金を徴収させてもらっています。この協賛金は1年当たり1250円で、入学時に5000円一括払いとなっているので、新入生からのみ徴収しているものではなく、市大生全員から徴収しているものなのです。これは大学祭の運営資金の約8割を占めており、この金額によって大学祭の規模が決まる大変重要なものです。

この協賛金を「払わなくていい」と考え、払わないようにと新入生に注意する方も見かけます。しかし、価値のあるイベントを無料で提供し、ふたば祭は3日間、銀杏祭は4日間と国公立大学にしては長い期間学園祭を開催できるのは、この協賛金のおかげです。より良い学祭にするために、どうか協力していただきたいです。

――上回生、新入生それぞれにメッセージをお願いします。

命懸けてやってます。それくらいの気持ちでやってます。なので、死ぬ気で楽しんでほしいです。楽しみ方は自分「しだい」……市大だけに。なんつって（笑）。また、まつりはいつもいろんな方にお世話になっているので日頃から感謝しています。

新入生はサークルの発表者としてではなく、客としてふたば祭を楽しめる最初で最後の学園祭になるかもしれません。後悔させません。ぜひ来てください。

なお、ふたば祭の情報は公式ツイッター、ウェブサイト、パンフレット、またまつりの事務所である第1学生ホール2階の共同談話室でも得ることができる。

文責

犬田美穂（Hijicho）

中小企業を楽しく学べる

「継ぐまちファクトリー」発売

本学商学部の教授が執筆した演劇脚本『継ぐまちファクトリー』が1月31日に発売された。

『継ぐまちファクトリー』は、京都で公務員として働いていた主人公が、ひょんなことから父親の町工場を継ぐことになり、様々な問題に直面するハートフルコメディである。昨年8月には本学の学生劇団「劇団カオス」が上演し、大きな反響を呼んだ。

『継ぐまちファクトリー』にはどのような思いが込められているのだろうか。著者である本多哲夫教授にお話を伺った。

『継ぐまちファクトリー』を執筆した本多哲夫教授
＝3月6日、加藤菜々子撮影

――執筆のきっかけは何ですか。

一つ目は、中小企業のことをもっと知ってもらいたいという思いからです。大企業のことばかりがテレビやニュースで取り上げられていますが、実は日本の企業の約99.7%が中小企業です。たくさんの人に中小企業について考えてほしいのですが、講義や学会などの堅苦しい場に足を運んでくれる人は限られています。そこで、みんなが親しみやすいように、コメディ演劇で自らの思いを描くことにしました。

二つ目は、中小企業を舞台とした既存の物語よりも、リアルを追求したかったからです。研究者からすると、従業員数が10人を超える中小企業は規模が大きい方です。実際、従業員数が4人以下の企業が全体の約6割を占めています。しかし、有名な小説や脚本の従業員数はたいてい10人以上です。そこで『継ぐまちファクトリー』では従業員数を9人に設定し、現実により近づけました。また、この脚本に書かれているエピソードのほとんどがノンフィクションです。研究活動の中で聞いたお話を織り交ぜて執筆しました。

三つ目は個人的なことなのですが、研究活動に携わって20年が経ち、何か今までとは違うことをしてみたいなという思いからです。

――実際に中小企業で問題になっていることは何ですか。

『継ぐまちファクトリー』でも取り上げているのですが、後継者問題は大きな課題です。日本の中小企業には、資金を借り入れる際に個人資産を担保提供したり個人保証を行ったりするパターンが多く見られます。つまり、企業の資金繰りが悪くなり経営が立ち行かなくなると、個人がその借金を背負うことになります。個人の生活を犠牲にするリスクを背負ってまで、事業を継いでくれる第三者はなかなかいません。だからといって自分の子供に無理矢理継

がせるのも酷な話です。現在、経常収支が黒字にも関わらず、廃業を考える中小企業が増えています。その半分は後継者不足が原因です。

また、貸し渋りや貸し剥がしなどの金融問題はかつて多かったのですが、金融緩和により近年は減少傾向にあります。しかし、近年はグローバル化による低価格品の輸入増加やそれに伴う取引先企業からの値下げ要求などを背景に、経常収支の悪化が多く見られます。この本にもあるように下請けを突然切られ、経営が立ち行かなくなる企業も多いです。

他にも、この本では取り上げていませんが、人口減少や団塊世代の引退による人手不足が問題となっています。現在は、外国人労働者をさらに積極的に受け入れて労働力不足を補っていくことが検討されています。

――今後はどのようなことに挑戦したいですか。

実は、第2弾となる脚本を執筆しました。舞台は商店街です。今年もまた何らかの形で上演し、本として出版したいです。

また、「ヨーロッパ企画のブロードウェイラジオ！」という番組の中で、私が執筆したラジオドラマが放送されました。これも中小企業をテーマとしており、2月の放送回を担当しました。YouTube にアップされているので、ぜひ聴いてみてください。こうした活動もまたやれたらいいなあと思っています。

――この記事を読んでいる人にメッセージをお願いします。

大企業に勤めれば一生安泰というわけではありません。リストラやデータ改ざんなどが社会問題となっています。この本が、本当にやりがいを感じられる仕事は何なのか、働くとは何なのかということを考えるきっかけになればいいなと思います。また、今年度から商学部に設置される公共経営学科は企業の地域性や社会性に重点を置いて学習を進めていきます。この本が公共経営学科を知るきっかけになればいいなとも思います。

多くの人に『継ぐまちファクトリー』を読んでみてほしいです。

文責

加藤菜々子（Hijicho）

こんにちは、大阪市立大学新聞 Hijicho です。

私たち大阪市立大学新聞 Hijicho は新聞や Web を通じた情報発信を行うメディア団体です。

週一回の編集会議にて話し合い、部員それぞれが思い思いの記事を執筆します。

また、地域とのつながりを大切にし、地域イベントにも積極的に参加しています。

文章を書きたい、写真が撮りたい、取材やイベントを通じていろんな人に出会ってみたい…

あなたの「やりたい！」を実現できる団体です！
新入生も上回生も大歓迎！
見学、入部いつでもお待ちしております！

Hijicho キャラクター
「とりさん」

連絡先
Mail: hijicho@gmail.com
Twitter : @hijicho

Twitter では学内外のニュースや新歓の情報も発信しています！
ぜひフォローしてください！

第一回桜花杯、開催

桜花杯が 3 月 15 日、万博記念公園野球場で開催された。桜花杯とは、桜花杯実行委員会（アメリカンフットボール部、応援団、体育会、大阪市立大学新聞 Hijicho）が主催する春のスポーツイベントである。銀杏祭のようなお祭りを目指して企画された。

イベントは午前 10 時 30 分から硬式野球部が京都大学硬式野球部の対戦であった。結果は 3-2 で市大の勝利で終わった。

野球部を応援する応援団＝3 月 15 日、中村伸二撮影

試合の後、MVP である古寺投手に試合の感想と今後の目標を聞いた。「第 1 回の桜花杯だったので勝ててよかったです。先発だったので最後まで投げ切ろうと思っていましたが、足の踏ん張りがきかなくなったので監督と相談して交代しました。次に投げた楠見は信頼しているし、彼なら抑えてくれるだろうということで交代しました。次の大会である春季リーグでは、応援してくださる人たちのためにもリーグ優勝は通過点です。全国に行き優勝したいと思っています。」と古寺選手は語った。

全力投球する古寺投手＝3 月 15 日、中村伸二撮影

今回の桜花杯は J:COM チャンネル 大阪で取材された。放送は 4 月 1 日から 15 日の予定である。桜花杯の最後に選手たちがマウンドに降りて番組内の合言葉である「ジモスポ、オー」と叫んでイベントは終了した。

「ジモスポ、オー」と叫ぶ選手たち＝3 月 15 日、中村伸二撮影

文責

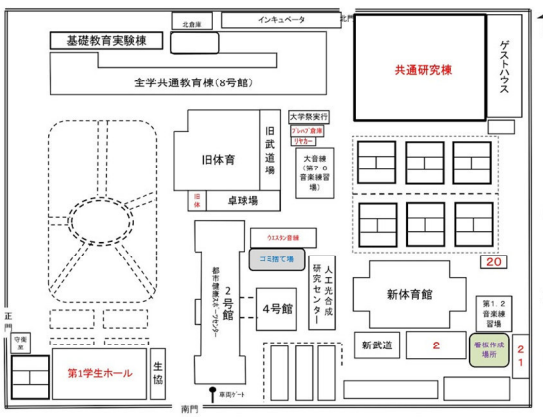
村島健太（Hijicho）

これでばっちり！
BOX MAP

４月は多くの学生が所属する新歓に参加し、部活、サークルを選ぶ時期である。しかし、新歓に参加するにあたって一つ問題が存在する。それは団体の部室の位置がわからないということである。自分が所属をしていない団体の部室はたとえ上回生であっても場所がわからないという人が多数であり、新入生であれば言うまでもないだろう。

そこで本学の部室配置図を下に記載する。これを参考に、より良い新歓ライフを送ってほしい。

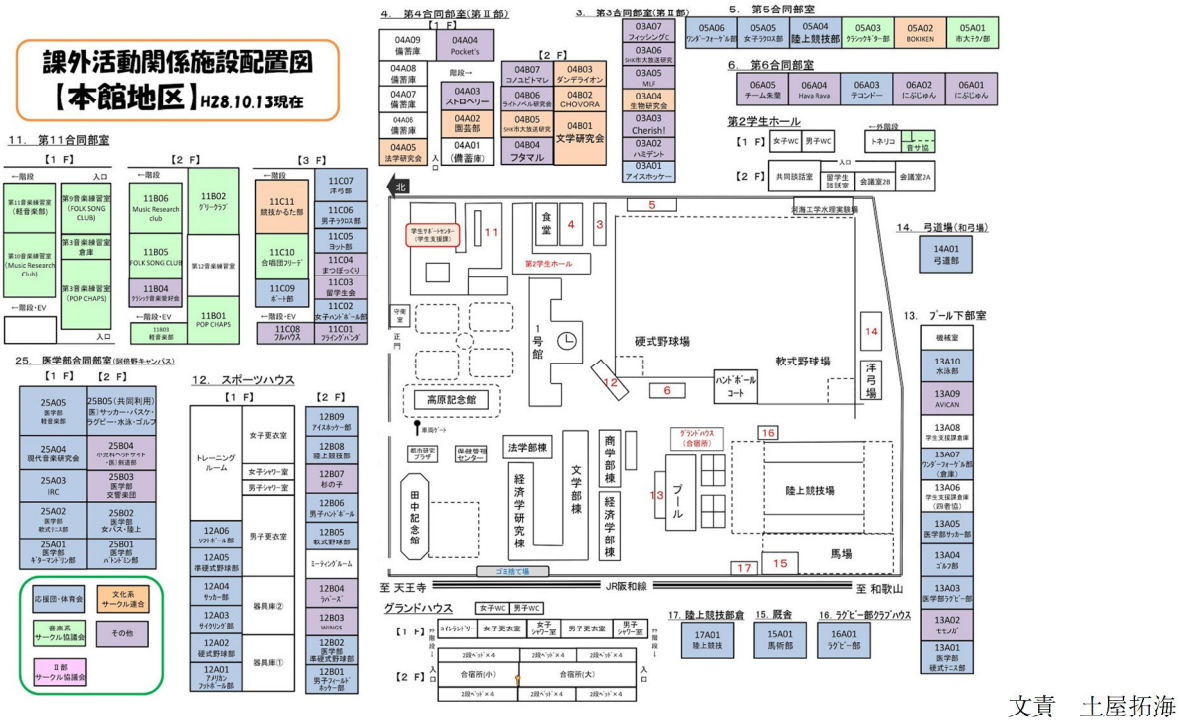
（画像はすべて学生支援課提供）



課外活動関係施設配置図【旧教養地区】H29.10.1現在

応援団・体育会　文化系サークル連合　音楽系サークル協議会　その他　Ⅱ部サークル協議会

課外活動関係施設配置図【本館地区】H28.10.13現在



文責　土屋拓海

市大川柳

https://goo.gl/ldrrjF

大阪市立大学新聞 Hijichoは、市大や市大生の生活に関する川柳を募集しています。賞の選考を毎月行い、紙面（ウェブ版なども含む）で発表します。今回も多くの作品をご応募いただきました。ありがとうございました。

金賞

春新歓桜は舞へどびら舞へず

どみ

今年から花道を作って新歓のビラを配るのが禁止になりましたね。桜の美しさが引き立つことでしょう。

銀賞

楽単、と余裕をかまして落単す

アムロツヨシ

いつだって紙一重の戦いです。今年度こそ頑張りましょう。

銅賞

八年間世話になったよ市大に

留年マスターヤマト

誰より学校に愛着があることでしょうね。卒業おめでとうございます。

次号も皆さまからの川柳を掲載します。ページ上のQRコードからご応募ください。締め切りは**4月15日**です。

大喜利コーナー ICHIDAIグランプリ

お題
『国立大学のコッピーであってはならぬ』みたいなことを言ってください。

金賞
文学部専門科目は他学部の楽単であってはならぬ（一休さん）

銀賞
国産金魚はグッピーであってはならぬ（国務大臣はヒッピーであってはならぬ）

銅賞
フエラムネたるものクッピーであってはならぬ（アマゾンのミシシッピーであってはならぬ）

http://qq4q.biz/G8pr

http://qq4q.biz/G8po

5月号のお題（4月15日締め切り）は「市大に新しいサークルができた。どんなの？」です。
回答は上側、お題は下側のQRコードからご投稿ください。

発行所　©**大阪市立大学新聞** Hijicho
〒558-8585　大阪市住吉区杉本3-3-138　大阪市立大学杉本キャンパス旧教養地区　共通研究棟121号室
hijicho@gmail.com　http://hijicho.com/